



保育座談會

——談話について——

時 日 十二月十二日午後三時から

場 所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

出席者 寫真右より

菊池保姆、及川保姆、坂口保姆、倉橋教授、白根保姆、堀主事、神原保姆、新庄保姆、徳久保姆

神原 今日は何育項目中の「談話」を話題に願ひます。

及川 私は「おはなし」を餘りしまへんから今日は皆さんの聞かせていただきたいのです。私は話し方がまづいし、特にこの話をこういふ風に話してみやうと工夫する時もないので時々にかいたしません。

倉橋 「はなし」は座談會の題目にはならぬのぢやないですか。私の方は斯んなにしてゐますといふぐらゐで論じることはないでせう。仕方を論じたつて結局仕様がなない。

神原 先達て先生が（倉橋）放送なすつた幼児に聞かせる話について、あんなものをうかがひ度うございます。

新庄 先生からいろ／＼うかゞひたいわね。いくらでも座談會になりますよ。皆さんお分りにならないことをこの時にあき／＼になればいゝわ。な

んていふと私に分つてゐるようだけど。

倉橋 さう來ると話が面白くなる。

及川 私だつて小さい組の時は下手ながらかなり澤山にお話をしましたけれども大きい組になつたこの頃では話によつて幼児が「それはこしらへたのでせう」といふ様な時もあるつてその話の材料や話し方もよほど工夫しないと面白くないと思ひます。幼児の話はよほど好きで殊に私など時にしかいたしませんので喜びますが外の仕事をどうしても多くしてしまふ様でいけません。

神原 私の組でもこの頃では全體に聞かせる事が殆んどありません。みんなにあつた話のみつかりせま／＼から、五六人宛ではよく「話」を致しませう。

新庄 私の所では揃つて聞きます。そして同じ話を幾度でも聞きたがります。

倉橋 はなしにはふだん話とあらたまつた話があり

ますね。あらたまつた話は凡べての保姆にうまく出来るか問題です。フダンの話の方はしてゐても、ちゃんとした抜巧を伴ふ話話誰でも話せるといふわけにはいけません。理想としては皆練習してうまくなるべきは勿論だけど。製作の場合ではうまい人だけやるといふわけにはいかないが「話」や「踊り」や「芝居」のやうな表現技術を要するものはうまい人があつたらその人に多くやつてもらふ、それで實際上の解決が出来る。

○ 新庄 子供はとも話をせがみますの、ですけど毎日致しませんが話をし過ぎていけないことがありませうか。

及川 ほんとにうるさいぐらゐ「話して〜」と云ひますね。家庭などでもね。

倉橋 「話」が多すぎて問題が起るとすれば、話を

きいて空想的な子になるなどいふが、それよりも話をきいて許りゐるために子供の生活に受身の生活態度を加へて来る。受身の生活態度に慣れると發動的な生活態度が減る。大きい子供でもラデオ、チクオンキ、パテベロとあゝいふ種類の娛樂ばかり樂み過ぎると受身に樂しむ方の癖がついて、發動的な働さが減つてくる。話を聞きすぎる害があるとすればそれでせう。話をきくだけで架空的、想像的になり過ぎるといふのは、そりや病的傾向の子供でせうよ。

(この時堀主事授業終つて歸らる)

堀 構はず續けて下さい。

倉橋 昔は子供を受身に置く方のこと、即ち與へる事、話を聞かせることなどばかりが教育的のものとして考へられた。此の頃では教育そのものの考へ方も變つて來て、幼稚園でも發動的な生活を主とするので、「話」の分量も減つてゐます。

但しそれは「話」を軽く見てゐるではない。――他のことが多くなつたのだ。

堀 保育項目中の「談話」のはなしかね？ 談話即「話」ですか。

倉橋 それ自身まとまりのついてゐるものを子供に演出してやる「話」のことさ。

堀 所謂「おはなし」だ。此處では何れぐらゐやつてゐるの。

及川 いはゆる「話」としては私はいたしませんといふよりむしろ出来ないのですがこの幼稚園全體として皆さんはなさるでせう。

倉橋 製作と違つて「好きこそ物の上手なれ」の差別がつくね。

堀 僕は一體、先生が「話」を「話」としてやる場合は少くともよいと思ふ。製作は子供の作業だが「話」は先生がはなすもので先生の技巧に屬するものだからね。

新庄 幼稚園の子供に話するのは六つかしいわね。

堀 「話」の大家であつても幼稚園の「話手」としちやなかくだ。

及川 「おはなし」だけぢやない事ですが、その事に下手でも上手でもすべての保育をみんな一人の先生がやるといふ事は無論大切な事でありますが、お話などは上手な方があつて他の組の子どもにもきかせてほしいものだと思ひます。

堀 若し「話」をしなくちやならぬとすればね、小學校の先生が各科受持つてゐれば他に上手な人があつても仕方がない。小學校の唱歌の様に特定の先生一人に頼むがいゝか何うかを私は疑ふ。

新庄 子供は見慣れてゐる顔から聞きたいんだと思ひますわ。

倉橋 便利上、ふだんの話といふ話を「乙種の話」

あらたまつた方を「甲種の話」をしませう。乙種の話」は其の人から聞く愉快が大部分です。

トンチンカン・シリキレトンボ・話の効果が強く無からうがちつとも失望しない。しかし「甲種の話」は文化としてあるのだからそれは出来るだけちやんと與へる事が必要です。即ち、ふだんのラクな「話」の外に「甲種の話」が週に一度でも、月に一度でもプログラム中に按配しておかれなければならぬ。又「甲種の話」は出来るだけうまいがいゝからその園で一番うまい人がその任に當つてもよい。便法としてね。勿論理想としては皆が其の技倆を持つがいゝにきまつてゐるがね。

及川 時々にはして居りますが、時には話らしい話もきかせたいと思ひます。

倉橋 樂な話をする味を味つてゐる人は話を「話」としてしたくない。しりごみするわけぢやない

が人間交渉のない話をするのは面白くないのです。この味からは物足りぬかも知れぬが、甲種の話」は人類の持つ文化だからアンデルセンが作つてゐるものはアンデルセンが作つた様に演出すべきです。幼稚園で出来るだけのうまさだけで年に時々でも是非やるのですね。

及川 だから人形芝居などでも時々見せて下さいといふのです。

倉橋 假りに極端に、五人の先生の中四人は吃り、一人だけ聲が出るとしてね。(笑)「乙種の話」はその吃りでも其の組々の先生でなくちやいかぬ。吃りが聞きたいのです。がたまにはいゝ聲のを聞かせなくちや。御都合によつて二組合せでもよろしい。尤もそのたつた一人のいゝ話手も隣の幼稚園へ行けばヘッポコであつても仕様がなない。その幼稚園の中で一番うまいのですからね。

○

堀 更に、是非やらなくちやとすれば吃り許りぢや仕方がない、吃りを治す。其處で話す材料や

回数考へる必要がある。

倉橋 標準はないが、この頃は昔に比べて少い。

及川 しない私でも小さい組の時には週に二度は話をしました。

堀 客觀的にきめられませんか。これ丈は話したといふものをきめられれば割り當てられる。

倉橋 一週に一度は多すぎますか。

新庄 多くありません。

倉橋 作業生活の多い場合にもそれで多すぎませんか。

か。

及川 小さい組ではそれで足りないぐらゐです。

新庄 一日おきに致しますわ。

菊池 入園當時は毎日でしたがこの頃は週に一度。

倉橋 それはよそ行の話ですか。

新庄 よそ行はいやですからフダンのとの間くらゐ。

倉橋 チョイ／＼着の話ですか。

徳久 私週に二、三度。

神原 組全體としてはこの頃は週に一度したりしなかつたりです。

白根 一週に一度ですわ。

堀 實習科生に練習させとく必要があるね。新しいのを考へたら大變な事だらうね。

新庄 ツーツーシクなつたのですかスヂを覺えて行つて話すのは月に一度ぐらゐですわ。

倉橋 「フダン話」に出してしまつて、十八番だけ出すのは數がなくなりましたか。

堀 幼稚園でこれこれの話をしたから小さい組の時にこれぐらゐ、大きい組になつたらこれ丈と考へたことはありませんか。

及川 「幼児に聞かせる話」と「幼児の楽しむ話」の二冊にある話は大概二年の間にはいたしてし

まひます。(日本幼稚園協會編の話の本のことです。)

新庄 するく〜と話が出て来なくつちや面白くありません。

倉橋 仕方、うまくするための要件だ。さうすると一週に一度では多いね。

堀 今日はこのまでと中途できる場合はあるの？
新庄 たいていありませんわ。子供がすぢを忘れたらちまふんですもの。

及川 小さい組では一度に三つぐらゐします。

倉橋 論據が二つになるが、幼稚園生活としてのものはなしを尊重するのは一般的の事として別にし、話を主にして、幾つかの「標準話」を撰んでゐて各組に按配して新しい話の初演を隔週一度とか何とかさめる。知つてゐるものをみんな話すと特別に話をする時に材料を見つけるのに困るからプランとしてこの案を先にこさへる。

堀 其の意味でも、唱歌や遊戯は大體こしらへてあるでせう。

倉橋 話は小さい組から大きい組へプランがたえられるしたてられたいものだ。例へばアンデルゼンのある話は是非聞かせておきたい、青年教育にはシエークスビーヤも或は噴葉集をも是非與へたいといふように幼稚園でも幼児期に是非與へたいものを用意して置きたい。

堀 地方の幼稚園ぢやそのあとにとつて置くが多いだらうね。生活の必要に應じてやるのを談話と「おなじ」として行ふ話と區別がつかない場合が多いでせう。

倉橋 どの幼稚園でも昔はそればかりに力を入れてゐたのだが、此頃は其逆になつて「生活の話」を主にするために「甲の話」が忘れられてゐる事もありませう。甲の話の方だつて、何時の間にかやればいゝつていふ論も立つが、いくら

生活主義の僕でも一生感銘のあるよい話は特にあらたまつたお話としてしてやりたい。

新庄 だからたまには『話』としてやりませう。

倉橋 一回に話し切れぬのは、一週日離れてしまつては忘れてしまふから年長組では毎日その週間つゞけるのも面白いでしょう。話」は圖畫や製作とその點で相違がありますね。

堀 僕は子どもの時、話といふ話を聞いた事がなくて今日に至つてゐるから没趣味で自分ながらつまらない。花咲爺やカチ／＼山でもまとまつて聞いてゐないから續けて知らなかつた。話の數は少くても、昔話とか民俗話は子供の時に聞いておく方がいい。

倉橋 極端に云へば「話」には、生活の機會を捕へて教育するといふ保育原則以外の原則を持つて居る。人類がいゝ話を作つて置いて呉れなければいゝが、それがあるのだ。名所が

なければ家で遊ばせるだけで、旅行はさせないが、名所があるから子供の時から見せて歩くのです。話を聞く事によつて生活を高め、深め、教養効果を與へてやる爲には「生活さながら」主義の自家でも特に一定の案を立てゝしなくちやならぬ。

堀 よそぢや子供を教室に入れてあるので時間つぶしの爲に豫定順序がなくちやならぬ。近頃幸に子供向きの話を目的にしての出版が多いから適當なの、俗惡に過ぎるのだからいゝ／＼研究に面白い。それを發表することは一般幼稚園でもよし、家庭でもよし。

○
倉橋 それから種類の問題になるが西洋ものばかりでなく。

堀 日本物を調べて適當なのが無けりやムリにやらなくてよいが。今の所は、日本へ外國物がガ

ラタタに入つてゐるので調べるのは面倒だね。

倉橋 まづ實際問題としては最善のもの許りはなか／＼の事だから次善でもよいとして、それなら多少は見つかるとせう。作りかへればあります。堀 「それだけは」といふ標準はなか／＼むづかしい。

倉橋 あの「幼児に聞かせる話」たのしませる話」の二冊にしても何れかといへばいはゆるたのしむお話で其處にエンフアサイズが入つてゐる。それと一寸違つた心持でゆくのもあつていゝ。

新庄 さう思ふとなか／＼出来ませぬね。

倉橋 「たのしむ話」の方に「ロビンソンクルソー」がありましたね。

及川 あれのもう少しむづかしいものですね。

倉橋 あれは「乙種」です。甲種の方は主旨を持つた「話」としてだから、その意味を十分に發揮する話し方も研究したくなるのですね。いろいろ

ろと。

新庄 これは堀先生は上手そうですね。

堀 出来ない、さういふ教育を受けてゐないから。倉橋 これが所謂幼稚園の積極効果ですね。フダンは子供の心理的要求に合すればよろしい。甲種の話は容易にその場で變更出来ない。その話を語る時間迄きめられる程のものです。更に内容の問題になります、その中に何とかの方法で詩を取り入れたいものと思ひます。

新庄 普通 詩ですか。

倉橋 むづかしいですが、和歌の中にも幼児の氣持に分るものがあると思ふのです。道歌ではありませんよ。子供の春の日の氣持は子ども自身も唱ふが詩人はその氣持を高めます。

新庄 私、いゝと思ふ詩のようなものを一語に云つたりして居ります。口にして調子のよろしいよ
うなものです。

○
倉橋 完全な詩はむづかしいけれどその一部分の句などをね。——こゝで一寸附け加へて云つてお

きますが、それを教育の目的で撰んで來た時に、幼兒生活ながらを本態としてゐるのですから一度話して直ぐ効果が出るのとは違ふことを明らかにして置かなくちゃ。修身はさうぢやない。教養の目的なんだから。分らなくちやならぬとなればそれは違ふ。私の云ふ危険は其處にある。これが積極的目的だとなるとこれを徹底させようとしがちですからね。けれど徹底させること、徹底的に反應を得ようとするのは、その積りでかゝることはいいが、強ゐてはならぬ。

堀 むづかしいぞ、其んな零蘭氣の中に置いて温醸する。

倉橋 香りを出さなくちやね。温室から出て來た人を香いで見てあゝ匂つてゐるといふのぢやない。話が濟んで感動して泣くようぢや困るけど。及川 今にそんな話を聞かせてやりませう。

堀 そんな話を僅かでも下手ながらに繰り返す。

倉橋 下手 がらといふ事はいい言葉です。「話」を聞かせるんですから。

堀 ビーターバンなどそんなものだらう。西洋では毎年々々この芝居をやるし幼稚園や小學校でさられてゐる。

倉橋 わざとらしく定めて文部省後援の下にそれを幼稚園必須のものとするべきではないが、我國は今餘りに動搖過渡期です。昔はカチ／＼山を祖母さんから聞いてた。今はあれでないものであれの位置を占めなくちや。シンデレラ、ビーターバンが英人をつくるつていふ位だからね。我國の子どもの爲にも、そいふものが欲しい。堀 今日出來てゐる話が多いのだからその中からセレクトして見ようぢやないか。

倉橋 先日のコードモのイロハカルタの逆に大文豪のものをごし／＼撰んでゆかう。急いでといふわけには行きますまいが。

一同 え、ほん當にこしらへませう。